

ふれあいニュースレター

【政府原子力被災者生活支援チームからのお知らせ】

今週の **ほっと・ニュース**

南相馬市の
小高病院が再開。
地元で安心して、
受診できます。



〈南相馬市提供〉

今年の4月23日に3年ぶりに、避難指示区域内で初めて医療機関が再開されました。診療は、月、水、木曜日の週3回(毎月第3木曜の午後は休診)。内科と外科の軽症者が主な対象です。

NEWS 「イノベーション・コースト構想」をとりまとめ(6月23日)

平成26年1月より、赤羽原子力災害現地対策本部長の私的懇談会として「福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想研究会」を立ち上げ、福島県内の関係者と、福島県浜通り地域の新たな産業基盤の再構築の検討を進めてきました。

各分野の有識者からの提案もふまえつつ、6月23日に開催された第7回の研究会において、報告書が取りまとめられました。

構想では、福島第一原発の廃炉を円滑に進めていくための研究開発拠点に加え、災害対応ロボットのテストフィールド、エネルギー

拠点の整備等浜通り地域の新産業基盤を展開するための提言が取りまとめられています。例えば、高効率石炭火力発電(IGCC)・LNG基地により4000人の雇用増、関連事業を含めれば1万人規模の雇用創出を見込みます。

政府は引き続き構想実現に向けた取組を進めていきます。



〈第7回研究会の様子〉

■暮らし関連2



「地元の方々に『ありがとう!』と言ってもらえることが嬉しい。」

■暮らし関連3



「自然に溢れ、暮らしやすい川内村で、一緒に働きましょう。」

■NEWS 4

イノベーション・コースト構想で今後具体化を検討していく事項

詳しくは、経済産業省のホームページをご覧ください。
<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html#innovation>



暮らし関連情報

◆◆株式会社青田設備(檜葉町)◆◆

「地元の方々に『ありがとう!』と言ってもらえることが嬉しい。」

「震災発生後から浜通りの上下水道や役場などの補修工事、高線量地域のモデル除染作業などに従事し、今もインフラの復旧作業などに携わっています。

現在、震災前から勤めている中堅、ベテラン社員、総勢10人で頑張っています。今年5月には、檜葉町に新たな事務所を設けました。机などの搬入はこれから行いますが、将来はこの地を拠点に地域の復興推進に携わっていきたくと考えています。

震災直後下水工事などで苦労を共にした社員が、今でも地元の人に感謝してもらえるのが嬉しいと、元気に働いています。そんな社員たちは、我が社の宝です。これからは大事にして、一緒に頑張っていきたい。」このように青田社長は、嬉しそうに語られました。

重機の整備もできるクレーンも配備しています。



広い駐車スペースがある今年5月に新設した事務所。



今こそ自分で判断して決断する時だと思えます。私たちと一緒に地域を盛り立てて行きましょう。

株式会社青田設備
代表取締役 青田 文彦さん

「堤防や高速道路の建設などが、急ピッチで進められる一方で、資材の高騰や人手不足で厳しい状況です。

今こそ地域で営業している事業者が一丸となり、復興に取り組みます。」と青田社長は話されました。



復興工事での活躍に備えて、新たに導入した重機です。



重機は、実働に備えてしっかりと整備しています。



様々な重機で、多種多様なニーズに応えます。

◆◆◆ 復興に向けた事業者からのメッセージ ◆◆◆



地元の仲間と協力して、メガソーラーや農業プラントを建設し、地域復興に貢献したいです。応援をよろしくお願いします。



株式会社青田設備

福島県双葉郡檜葉町大字井出字浄光西
11-2

連絡先：0240-23-6508



暮らし関連情報

◆◆株式会社四季工房・

家具工房ニングル福島工房(川内村)◆◆

「自然に溢れ、暮らしやすい 川内村で、一緒に働きましょう。」

「家具工房ニングルは、熟練した職人の手仕事によって、木の風合いを生かした家具づくりをしています。平成24年8月に川内村の旧川内二小の体育館などを借りて、自然素材にこだわった注文住宅・リフォーム等を手がけている(株)四季工房と共同経営する形で、工場を立ち上げました。



工房は、体育館を利用しています。



若い職人を指導して、作業の安全、技術の向上を図ります。

主な製品は、同社の住宅向けに、木目が美しいハルニレの木材を使ったキッチンを取めています。

水回りになるので、伸縮、膨張、湿気対策を考えて作っています。使い込むほど味が出て、手入れをすれば長く使えます。

少量ですが家具も作っており、同社郡山、新宿のショールームに展示中です。」と長田工房長は話されました。



小さな工房ですが、忙しく充実しています。空き時間の自由仕事を奨励し、好きな人には本当に面白い仕事だと思います。私たちと家具職人を目指しませんか。

株式会社四季工房・
家具工房ニングル福島工房
工房長 長田 哲史さん
(前中央)と職人のみなさん

「約1年前から村民2人を含む5人の職人で家具作りをしています。今後は若い人を採用し、職人として育て上げて、家具の品揃えも充実したいと考えています。」と長田工房長は将来への展望を述べられました。



看板、ポスト、ストーブまで自由工作の成果です！



木の風合いが感じられるキッチンの天板です。



ハルニレ材を加工して、家具を組み上げていきます。

◆◆◆ 復興に向けた事業者からのメッセージ ◆◆◆

福島工房は、自由に見学できます。お近くにお越しの際は、お立寄りいただき、村の素晴らしい自然や木の暖かみを感じてください。職人一同で、お待ちしております。



株式会社四季工房・家具工房ニングル福島工房
福島県双葉郡川内村大字上川内字町内138-1
連絡先：024-025-8307

1. 国際廃炉研究開発拠点(放射性物質分析・研究施設)

- 廃炉研究の中核施設、1F近傍に設置。
- 高濃度放射性物質の分析を行い、世界の研究者を集めた研究を実施。



3. 国際産学連携拠点

- 全国の原子力関係の研究室が集結。
- 廃炉、環境修復、農林水産、医学等、現地ならではの教育研究を推進。
- 海外原子力技術者の研修も実施。



2. ロボット開発・実証拠点

(1) モックアップ試験施設(屋内ロボット)

- 廃炉作業を想定したロボット試験施設。楡葉町に建設中。
- ロボット国際競技会開催。



(2) 福島ロボットテストフィールド(屋外ロボット)

- 陸海空の災害対応ロボット研究・実証施設。
- 緊急時には現場にロボットを派遣。



4. 新たな産業集積

(1) スマート・エコパーク

- 震災がれきのリサイクルや希少金属を抽出する拠点を整備。



(2) エネルギー関連産業の集積

- 高効率石炭火力、LNG基地、洋上風力等に関連した産業の集積。

(3) 農林水産プロジェクト

- スマート農業、水産研究施設強化。

(4) アーカイブ拠点

- 原子力災害の教訓を継承するための教育研究拠点。

5. インフラ整備

(1) 交通インフラ

- JR常磐線の全線開通。
- 福島復興再生道路等の整備。



(2) 産業・生活インフラ

- 工業団地や生産・物流施設等を浜通りに計画的に整備。
- 双葉郡の中核病院の整備。



○『放射線量の見通しに関する参考試算』の公表

イノベーション・コースト構想の具体化にあたっては、現状において放射線量が相対的に高い地域の放射線量の低減見通しは、求められる情報の一つです。このため、放射線量の見通しについて一つの参考を提示するための試算を公表しました。詳しくは以下をご覧ください。

http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/140623/report_01e.pdf



「ふれあいニュースレター」バックナンバーのご案内

過去の「ふれあいニュースレター」につきましては、以下のアドレスよりご覧いただくことが可能です。ぜひご覧ください。

<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html>